

## プロジェクトの背景

### 1 人口構造の変化 (2015→2025)

◇ 生産年齢人口 **19万人減少**

◇ 高齢者人口 **24万人増加**

(埼玉県5か年計画推計)

### 2 シニアの就業希望と就業率の差

「70歳まで働きたい」 **68.0%**



(H29県政サポーターアンケート)

「70歳の就業率」 **30.5%**

(H27国調)

## プロジェクトの主な実績と目標

### 1 「シニアの働く場」の拡大

◇ 「シニア活躍推進宣言企業」の認定



認定 1,070社 → H33 2,500社

#### 宣言の効果

- ・技能・知識の伝承
- ・従業員の定着率向上
- ・人手不足の解消

### 2 シニアの就業支援

◇ セカンドキャリアセンターなどによる就業支援

就業者数 3,406人 → H33 6,000人



## 新たな視点

### ◇ 60歳以降を見据えた準備

- ・ **何もしていない** 37.2%
- ・ 健康、体力づくり 37.1%
- ・ 知識、技能の習得 25.8%

(H29県政サポーターアンケート)

## 3年目の更なる展開

① 現役からシニア活躍への橋渡し

② 企業における「活躍の場」の拡大

# ① 現役からシニア活躍への橋渡し



## 現役世代への働き掛け

### 新 「シニアライフ案内士」の養成

- ◇ ターゲットは40～50歳代の現役世代
- ◇ シニアライフの充実のため、必要な情報をセミナーで提供  
⇒ 「シニアライフ案内士」として登録（目標：2,000人）
- ◇ 案内士には県から継続的に情報提供  
⇒ 職場の同僚やコミュニティの知人に話題を提供

#### ◇ 個人向けセミナー

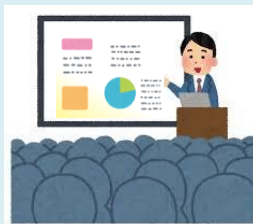
7月から11回開催予定

テーマ：定年後の選択肢について  
マネープラン、健康管理

#### ◇ 金融機関・業界団体との連携セミナー

30回程度開催予定

募集開始日：6月5日（火）



## 退職時の働き掛け

### 新 「シニア応援カード」の配付

- ◇ 企業等を退職した方が国民健康保険への切替えのため市町村窓口を訪れた際に配付（対象者：5万人）
- ◇ 退職後に多様な活躍の場があることを周知  
※ 仕事やボランティアなどの相談窓口をまとめた名刺サイズのカード



#### 「電話案内」の実施

- ◇ 仕事やボランティアなどに関する身近な相談窓口を案内

総合案内電話：048-780-2099

拡充

## 70歳雇用推進助成金

### 平成29年度の実績

- ◇ 交付企業数  
25社(正社員の合計 約1,500人)
- ◇ 対象企業  
定年の廃止又は70歳以上への引上げ等



### 制度の拡充

- ◇ 対象 常用雇用者10人以上 (H29:30人以上)
- ◇ 交付予定数 60社 (H29:25社)
- ◇ 予算額 6,000万円 (H29:3,400万円)

### 平成30年度の募集

- ◇ 対象となる取組
  - ・ 定年の廃止
  - ・ 定年年齢の70歳以上への引上げ
- ◇ 対象となる企業
  - ・ シニア活躍推進宣言企業の認定企業
  - ・ 常用雇用者が10人以上 など
- ◇ 助成対象額  
常用雇用者数に応じて、50万円～200万円を助成
- ◇ 受付期間  
**平成30年5月28日(月)～6月29日(金)**



シニア活躍推進課：048-830-4539